

平成 24 年 6 月 29 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都渋谷区恵比寿四丁目 1 番 18 号
恵比寿ネオナート
ジャパン・ホテル・リート投資法人
代表者名 執行役員 伊佐 幸夫
(コード番号：8985)

資産運用会社名
ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 博之
問合せ先 取締役管理本部長 平山 順一
TEL：03-6422-0530

国内旅行の動向調査に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の資産運用会社であるジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）は、今後の余暇市場を探ることを目的に若年層代表として 20 代と、団塊世代も含む 60 代以上に絞り、今夏の国内旅行の動向調査を初めて実施いたしました。その調査結果に関して、別紙のとおり、お知らせいたします。

以上

- * 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.co.jp>
- * 本資産運用会社のホームページアドレス：<http://www.jhra.co.jp/>

2012年6月29日

～今年の夏、国内旅行を予定している20代と60代以上の旅 初調査～

今年の夏旅は、**同じ場所で2連泊が約6割。**

名所旧跡などをじっくりまわる1ヶ所集中型！

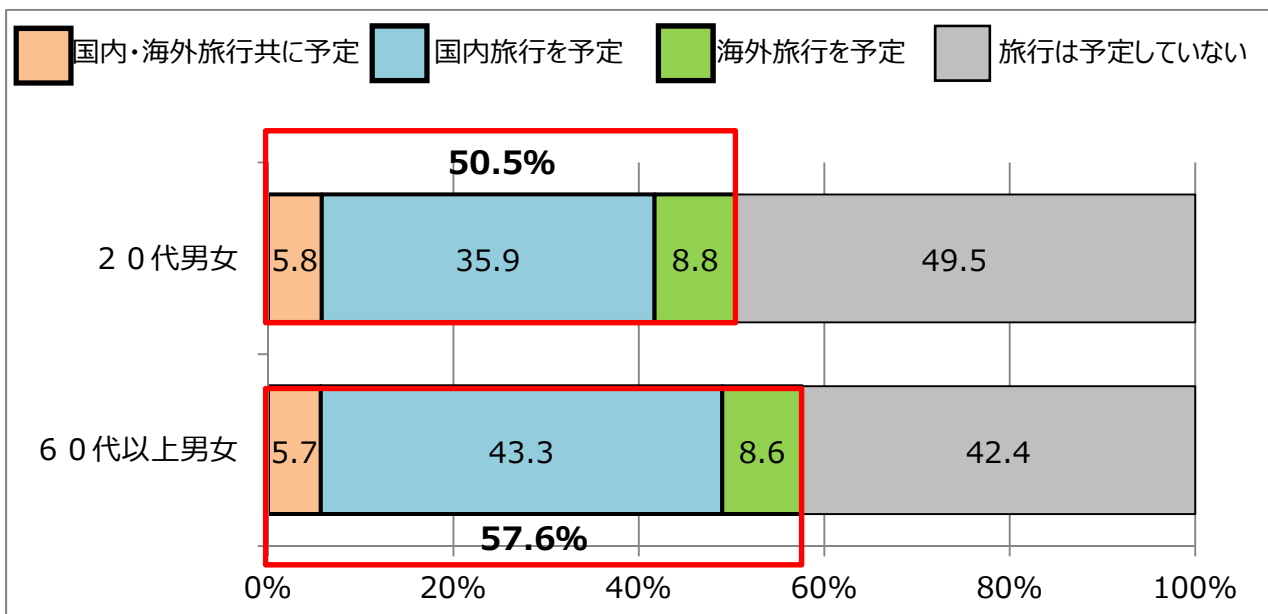
20代男性は**28.1%**が**一人旅**を予定。一方、20代女性の一人旅は**7.1%**。

60代以上男女は**75.0%**が**家族旅行**。

東京証券取引所に上場している不動産投資信託（J-REIT）における唯一のホテル特化型の投資法人である、ジャパン・ホテル・リート投資法人（JHR）の資産運用会社、ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社（JHRA）【本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鈴木 博之】は、今後の余暇市場を探ることを目的に若年層代表として20代と、団塊世代も含む60代以上に絞り、今夏の国内旅行の動向調査を初めて実施いたしました。

20代男女は、全体の約5割が夏旅（国内・海外旅行）を予定しており、60代以上男女は、約6割が予定していると答えました。本調査は、そのうち今夏、宿泊を伴う旅行を予定している人の中から、「国内旅行を予定している」（帰省含まず）人たち400名を対象にしています（20代、60代以上各200名）。

【表1】今夏、旅行を予定していますか？

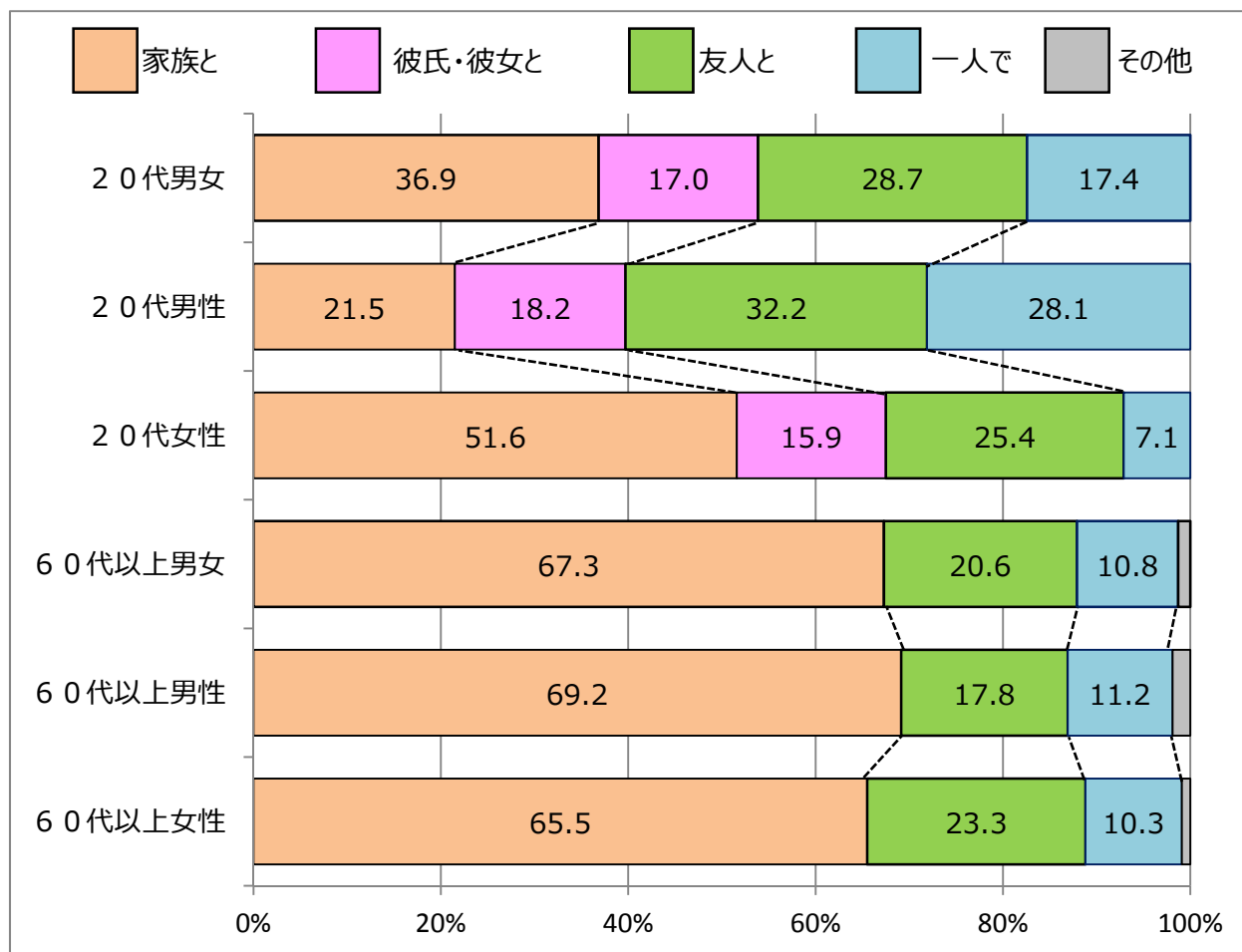


■ 20代男性の約3割が“一人旅”を計画。60代以上男女と20代女性は家族と旅行が過半数 ■

「誰と国内旅行に行く予定ですか？」という設問に、20代男女は「彼女・彼氏と」が17.0%、「友人と」28.7%と、約5割の人が気の置けない友人、恋人たちとの旅行を計画しているのに対し、60代以上男女は「家族と」67.3%と夫婦水入らず、もしくは家族との旅行を予定している結果となりました。

さらに世代・男女別に見ると、20代男性が特徴的で「家族と」と回答した人は21.5%にとどまり、「一人で」が28.1%と他属性に比べて突出しており、「友人と」32.2%も他世代に比べて高い割合を示しています。

【表2-1】誰と国内旅行に行く予定ですか？（複数回答可）



※計算方法について：各項目の合計が100%になるように計算しております。

■ 今夏は、年代・性別を問わず2泊3日が約6割！2泊とも同じ宿に滞在する「1ヶ所集中型」■

「何泊を予定していますか？」の問いには、2泊との答えが一番多く、20代男女は41.5%、60代以上男女は38.6%となっています。中でも60代以上男女で「家族と旅行する」と回答した人は、3泊以上予定している割合が32.6%と多くなっています。「旅行中、同じ宿泊施設に2泊以上（連泊）しますか？」に対して「はい」と答えた人は、20代男女は65.9%、60代以上男女は60.1%と多く、両世代とも同じ宿でのんびり過ごす傾向となりました。

【表2-2】何泊を予定していますか？【全体の平均宿泊数】

平均宿泊数 (%)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊以上
20代男女	38.6	41.5	11.4	4.1	1.2	3.2
60代以上男女	29.1	38.6	17.5	7.2	1.8	5.8

【表2-3】何泊を予定していますか？【「家族と旅行する」と回答した人の平均宿泊数】

「家族と」回答者 平均宿泊数 (%)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊以上
20代男女	37.3	45.1	12.1	3.3	2.2	0.0
60代以上男女	22.7	44.7	16.7	8.7	1.3	5.9
						32.6

【表3】旅行中、同じ宿泊施設に2泊以上（連泊）しますか？

単位 (%)	はい	いいえ
20代男女	65.9	34.1
60代以上男女	60.1	39.9

■ 予算は、昨年同様。20代は1人1泊5千円～1万円以下のリーズナブル派、
60代以上は1人1泊1万円～1万5千円■

「旅行した場合、昨年より今夏の旅行予算は？」と聞いたところ、「同じくらい」と答えた人が20代男女（53.0%）、60代以上男女（63.0%）ともに一番多くなりました。また「気持ち増やす予定」「倍以上増やす予定」が、「気持ち減らす予定」「半分以下にする予定」より3倍近く多く、景気は芳しくない中、夏旅の予算は、増やす傾向という結果がでました。宿泊代に関しては「1人1泊の宿泊代予算見込」についても、20代男女は5千円～1万円以下が48.5%なのに対して、60代以上男女は1万円～1万5千円以下が37.0%を占めています。

【表4】旅行した場合、昨年より今夏の旅行予算は？

単位 (%)	倍以上増やす予定	気持ち増やす予定	同じくらい	気持ち減らす予定	半分以下にする予定	旅行年 昨年の夏に は宿泊を 伴う
20代男女	6.5	21.5	53.0	8.0	2.5	8.5
	28.0			10.5		
60代以上男女	4.5	18.5	63.0	7.0	0.5	6.5
	23.0			7.5		

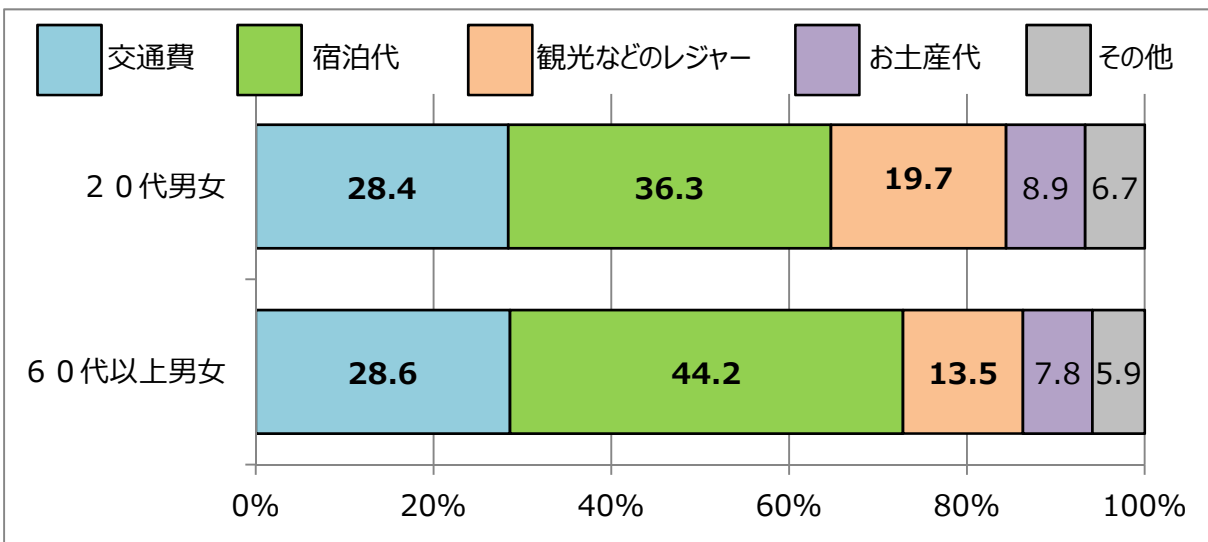
【表5】1人1泊の宿泊代予算はどのくらいを見込んでいますか？（例）1室2万円に4名泊まる場合は、1人5000円となります。

宿泊代予算 (%)	5千円以下	5千円以上 1万円以下	1万円以上 1万5千円以下	1万5千円以上 2万円以下	2万円以上
20代男女	8.5	48.5	22.5	10.5	10.0
60代以上男女	5.0	24.0	37.0	23.0	11.0

■「交通費」は約3割にとどめて近場にし、「宿泊代」や「観光などのレジャー」に予算をかける傾向に■

「旅行した場合の予算の内訳を教えてください。」との問いに対しては、「交通費」に関しては20代男女、60代以上男女とも全体の約3割を占めていますが、20代男女は「宿泊代」に36.3%に対して、「観光などのレジャー」に19.7%と約2割近くになっています。一方で60代以上男女は、「宿泊代」44.2%と一番多く、「観光などのレジャー」は13.5%となっています。

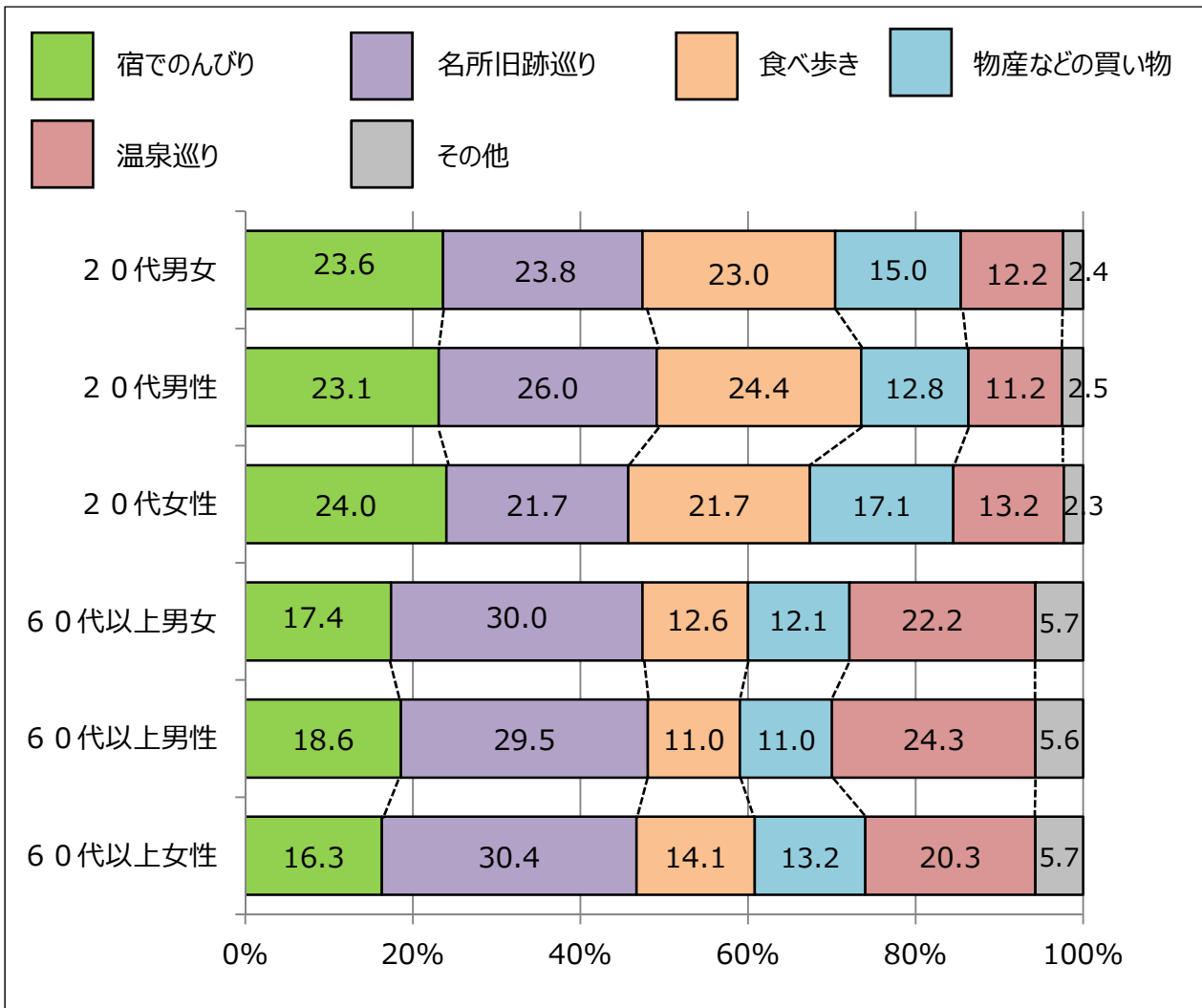
【表6】旅行した場合の予算の内訳を教えてください。（全体を足して100%になるように概算で）



■60代は観光地をアクティブにまわる行動派、20代は宿でのんびり、食べ歩きのみペース派■

「旅先での過ごし方を教えてください。」には、60代以上男女が「名所旧跡巡り」30.0%、「温泉巡り」22.2%に対して、20代男女は「宿でのんびり」23.6%、「名所旧跡巡り」23.8%、「食べ歩き」23.0%の3項目がほぼ同レベルとなりました。前述の通り、20代男女は旅予算のうち「宿泊代」は、60代男女よりも割合が低く、「観光などのレジャー」に約2割の予算をかけていますが、“宿付近をのんびり探索”する傾向。一方で60代男女は「宿泊代」の割合が高いにも係わらず、「名所旧跡巡り」や「温泉巡り」とアクティブに行動する傾向となりました。

【表7】旅先での過ごし方を教えてください。（複数回答可）



※計算方法について：各項目の合計が100%になるように計算しております。

■「立地・利便性」は当たり前。「お風呂」よりも「料理」や「部屋」を重視する傾向■

「ホテル・旅館を選ぶ際にあなたが重要視する順番に数字をふってください。」と「立地・利便性」「料理」「部屋」「お風呂」「接客・サービス」「その他」に順位をつけてもらったところ、20代男女、60代以上男女とも1位は「立地・利便性」となりました。年代別の特徴として、20代男女の2位「部屋」に対して、60代以上男女の2位は「料理」となり、「お風呂」の重要度はあまり高くない結果となりました。

【表8】ホテル・旅館を選ぶ際にあなたが重要視する順に数字をふってください。

※最も重要だと思うものに1、最後が6

単位 (%)	1位	2位	3位	4位	5位	6位
20代男女	立地・利便性	部屋	料理	風呂	接客・サービス	その他
	22.4	21.6	19.0	17.5	13.2	6.3
60代以上男女	立地・利便性	料理	部屋	風呂	接客・サービス	その他
	22.0	21.4	19.6	17.8	12.4	6.8

【調査概要】

調査方法： インターネット調査
調査期間： 2012年6月6日～8日
有効回答者数： 400名
回答者の属性： 1都3県（東京・埼玉・千葉・神奈川）在住、今年夏に宿泊を伴う国内旅行を予定している
【400名の内訳】
・20代 男性 100名、女性100名（計200名）
・60代以上 男性100名、女性100名（計200名）
【60代以上200名の内訳】 60代男女は166名、70代男女は34名

ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社【会社概要】

「ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社」（<http://www.jhra.co.jp>）は、東京証券取引所に上場している不動産投資信託（J-REIT）の一銘柄である「ジャパン・ホテル・リート投資法人」（<http://www.jhrth.co.jp>）【証券コード：8985】の資産運用会社です。

所在地 〒150-0031 東京都渋谷区恵比寿4丁目1番18号恵比寿ネオナート
設立日 2004年8月10日
資本金 3億円
主要株主 Rockrise Sdn Bhd
株式会社共立メンテナンス
オリックス不動産株式会社
代表取締役社長 鈴木 博之
登録・免許等 宅地建築物取引業 東京都知事（2）第83613号
取引一任代理等認可 国土交通大臣認可第38号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第334号
社団法人投資信託協会会員

代表取締役社長 鈴木 博之



『挑戦と創造を継続して実行する真のプロフェッショナルが、ホテル投資への魅力的な投資機会を提供します。』このミッションを掲げ、ジャパン・ホテル・リート投資法人の資産運用を行っています。日本における観光産業やホテル産業の成長期待と共に、そこから生じる需要増加を収益に転換し、ホテルのお客様、ホテルの従業員、そしてホテルへの投資家の三者が、WIN-WIN-WIN の関係になることを目指しております。また、弊社の筆頭株主である Rockrise Sdn Bhd.は、アジアの不動産に投資するシンガポールをベースとした RECAP グループでございます。この RECAP グループも、日本のホテル産業の成長には大きな期待を寄せております。

【本件に関するお問合せ先】

ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社 広報担当

株式会社フリーマン 担当：小林、長妻

TEL：03-5280-1351/FAX：03-5280-1357

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券等の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではありません。

投資に関する決定はご自身の判断で行って頂くようお願い申し上げます。